



板橋区

体協ニュース

第85号

平成24年7月30日発行

「りんりんちゃん」



Itabashi Amateur Athletic Association News

公益財団法人
板橋区体育協会〒174-0051 板橋区小豆沢 3-1-1 小豆沢体育館3階 TEL:03-5915-5568 FAX:03-5915-1705
URL: <http://www.itabashi-taikyo.or.jp/>

板橋区体育協会

新公益財団法人へ(4/1)移行

白紙状態から移行に至る ドキュメント！

日本の公益法人制度が平成20年に歴史的な全面法改正され、現行法人を継続するためには、5年の期間内で新法人への移行手続きを行うことが義務付けられた。

制度改正以降、板橋体協としても試行錯誤を経ながら一歩ずつ土台を築き、結果として当初の目標に沿って今年4月1日をもって公益財団法人への移行登記完了に漕ぎつけた。

以下は新法人移行に至る3年余りの道のりの報告。

1. 白紙からのスタート

新制度施行前から情報収集を行い、施行後に早速検討会をスタートさせたが、法制度が複雑・難解だったため、なかなか全体像が掴めず容易に前へ進むことが難しい状況であった。

白紙からスタートして約一年強、平成21年度末にはようやく新制度の全体像が見えてきた。またこれに併せ、解決すべき諸々の課題・問題も徐々に見えてきた。

2. 一般か公益か

新法人への移行に際しては、「一般財団法人」か「公益財団法人」のいずれかを選択しなければならず、比較的自由的な法人運営を可能とした「一般財団」に対し、法律で高いハードルが設定されている「公益財団」のどちらが妥当かの判断が難しかった。

結果として、平成22年11月臨時評議員会において体協は公益財団を選択したが、判断の視点としては、有利・不利という側面よりも、体協の設立意義

である「区民スポーツの振興」という公益的な理念に沿った方向性を選択したといえる。

3. 新法人組織のあり方

新制度への移行で最も特徴的な点は、名称は同じでも評議員、評議員会の『職責と権限』がまったく異なることで、役員の選任権、決算など重要事項の最終決定権は評議員会のみとの権限とされている。

これに伴い、理事会、旧評議員会を含め、体協組織全体を再構築する必要があった。

この課題に関して、理事会において試行錯誤と議論を繰り返し、再三の修正の後、加盟団体の参画を基本とした「新法人における組織のあり方」(方向性)を平成22年11月に臨時評議員会へ提案して承認された。

4. 板橋区のバックアップ

新法人移行に対する体協内部の検討に併せ、東京都や板橋区と協議を行った結果、申請に先立って避けて通れない問題点が明らかになった。

この問題点の解決にあたっては、区のバックアップが不可欠なため、理事会において懸案事項を整理して区への要望書提出を決定した。

具体的には、事務局職員についての法定ルールの適用、およびこれに伴う財政支援であるが、スケジュール的に早急な解決が必要であった。



体協の要望を受け入れていただいた板橋区は、スポーツ振興課を窓口として全面的な支援体制で対応していただき、平成22年度末に、最大の懸案事項が解決に至った。

5. 最後の山場

諸々の問題が解決し、いよいよ平成23年度から移行認定申請の作業に着手した。

最初の評議員の選任、定款・諸規程の制定、事業・会計区分の整理、申請書入力等々の申請準備を進める一方、平成23年8月の臨時評議員会において、新法人最初の正副会長・専務・常務理事の選定に併せ、公益財団法人への移行認定申請を決定した。

その後の経過では、東京都との申請協議が最後の山場となった。事業・会計区分の見直しに始まり、未整備諸規定の制定、申請書類の修正、追加資料の提出等々、膨大な宿題が山積していたが、この場面でも事務局には大いに尽力していただいて難局を克服し、本年3月21日に念願の移行認定の決定に至った。

このたびの移行認定にあたってご理解ご協力いただいた板橋区および加盟団体の皆様、並びに前役員・前評議員・事務局の皆様、そして財務会計でご指導いただいた安岡公認会計士に厚く御礼申し上げます。

専務理事・高澤 記

第65回 都民体育大会

女子卓球4連覇も女子総合6位、男子は19位に終わる

公開競技でハンドボール男女優勝、ローラースケート1位ほか好成績!!

第65回都民体育大会を締めくくる閉会式が6月17日(日)に岸記念体育館で行われたが、今大会における板橋区の成績は次のとおり。

まず女子の部で特筆すべきは、卓球が4連覇を達成するという金字塔を打ち立てたほか、水泳3位、弓道4位、ボウリング4位、ソフトテニス5位、ソフトボール5位、の好成績を残し、総合で6位の成績を収めた。公開競技ではハンドボール1位、アーチェリーが3位に入賞した。

一方の男子は、ソフトテニス2位、テニス3位、水泳6位に入賞したが、総合で19位の結果に終わった。

公開競技では、ハンドボールが女子と共に優勝というすばらしい成績を勝ち取ったほか、ローラースケート1位、銃剣道2位に入賞する好成績を残した。

〈男女別の上位総合成績〉

男子 1位=大田区、2位=練馬区、3位=足立区、4位=杉並区、5位=江東区、6位=世田谷区、7位=八王子、8位=新宿区

女子 1位=大田区、2位=世田谷区、3位=杉並区、4位=練馬区、5位=江東区、6位=板橋区、7位=江戸川区、8位=新宿区



今年の第65回都民体育大会開会式は、東京都障害者スポーツ大会開会式との合同開催となり、五月晴れの5月13日(日)午前10時から、13,765名が参加して駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された。

この合同開会式は世界で初めてのもので、第一部はオープニングアトラクション、第二部は合同開会式、第三部の交歓プログラムで構成され、総合司会にはTVアナウンサーの福澤朗さんと亀井京子さん、特別ゲストに朝原宣治さん、土田和歌子さん、井上あずみさんらを迎えたアトラクションの中で、東京に分灯された南相馬の希望の「炬火」が聖火台に点灯される場面では、参加者に大きな感動を与える盛大な内容が展開した。

またこの内容は、ロンドンオリンピックにおける日本選手の活躍、来年度の東京国体、さらに、9月に決定する2020年開催のオリンピック東京招致に繋がる期待をも膨らませたほか、合同開会式の成功は一層友情の輪を広げるイベントとなった。

開会式に並行して同体育館で行われた平成24年度の東京都体育協会表彰における板橋区関係では〔生涯スポーツ功労者〕にはソフトボール連盟の早川恵三さんが、〔生涯スポーツ優良団体〕部門では板橋区武術太極拳連盟がそれぞれ表彰された。 若月記

第65回都民体育大会 板橋区代表選手結団式 クレー射撃連盟・村松良喜選手が 力強く選手宣誓！

第65回都民体育大会春季大会が間近に迫った4月23日(月)、区立文化会館大会議室に体協加盟各団体から派遣される出場選手を代表する選手多数が出席して、選手結団式が開催された。

式は、坂本健板橋区長に続いて石井勉板橋区議会議長から激励のご挨拶をいただき、区長から選手団長へ団旗が授与された。続いて、体育協会加盟団体順に選手紹介され、クレー射撃連盟の村松良喜選手が力強く選手宣誓。最後に、宮坂常務理事からの諸注意があり、中尾副会長の閉会の辞で結団式を閉会した。



結団式選手宣誓

新法人初の平成24年度定時評議員会開催 前年度の事業報告・決算、新役員他が承認される！

新公益財団法人に移行後初の評議員会が、6月26日(火)午後6時30分から小豆沢体育館多目的室で開催され、前年度の事業報告・決算、新役員と各理事の役職等が審議承認された。

会議は時任総務部長の司会のもと、中尾副会長の開会の挨拶に始まり、出席評議員から選出された阿部議長(スキー協会)が定足数を確認して議事に入った。

第1号議案：平成23年度事業報告、第2号議案：平成23年度決算報告、第3号議案：平成23年度監査報告、第4号議案：評議員の辞任、第5号議案：評議員の選任、第6号議案：新役員を選任の各議案がそれぞれ承認された。

この決定を受けて、承認された新理事全員が別室に移動した臨時理事会で会長以下の各役職を決定し、引き続き評議員会を再開して理事会の報告が行われた。

新たに決まった新役員を代表して下田新会長の紹介と挨拶が行われ、及川副会長の閉会のことばで閉会した。

〔新理事の役職と担当〕

会 長	下田 賢司	
副 会 長	加藤 勝一 (財政部・事業部担当)	
副 会 長	豊泉 和男 (総務部・広報部担当)	
専務理事	高澤 誠	
常務理事	宮坂 吉胤	
常務理事	安田 満雄	
総務部長	若月 欣次	
財政部長	宮坂 吉胤 (兼務)	
事業部長	安田 満雄 (兼務)	
広報部長	石井 保範	
理 事	吉田 輝男	総務部
理 事	高橋正一郎	総務部
理 事	福澤 敏子	総務部
理 事	大久保正明	財政部
理 事	末吉 寛	財政部
理 事	関 昭	財政部
理 事	三浦 敬司	事業部
理 事	高松 昭二	事業部
理 事	福手 敏夫	事業部
理 事	森田 浩幹	事業部
理 事	小抜 武雄	事業部
理 事	渡辺 勇一	事業部
理 事	下野 敏弘	広報部
理 事	小堀 幸子	広報部
理 事	藤野 一郎	広報部
理 事	坂井 亮 (板橋区スポーツ振興課長)	
監 事	坂間 光一	
監 事	田中 範行 (板橋区区民文化部長)	



初の代表委員会開催



新制度により加盟団体から新たに選出された代表委員による初の代表委員会が6月13日(水)19時から小豆沢体育館多目的室で開催された。

会議内容は、「平成24年度の事業協力」「各委員の所属部」「体育協会ユニホーム(ビブス)」等に関する説明・質疑のほか、体協活動への参加・協力マニュアル、平成24年度事業計画、加盟団体代表委員名簿、平成24年度予算内容などの配付説明も行われた。

代表委員の役割

公益法人化後の代表委員および同委員会の役割は、従来の評議員の役割を継承した組織で、都民大会・区民大会への参加意識や技術力向上充実、ロードレース運営の充実、ジュニア育成等をはじめとする青少年の健全育成、生涯スポーツの振興など、よりスポーツの健全化と定着の輪を広げていくための実務機関として、各委員および委員会のコミュニケーションを活発化してよりチームワークを高め、各事業の積極的推進の中核である。

3年ぶりの「板橋Cityマラソン」

体協関係者182名が大会の成功をサポート!

2年前は強風の影響で、昨年は東日本大震災の余



▲マラソンスタート
◀キッズラン

波を考慮しての2年続けて中止を余儀なくされていた荒川市民マラソンは、これまでの〔東京・荒川市民マラソン〕から〔板橋Cityマラソン〕へと呼称変更による意気込みも新たな3月18日、雨上がりで曇り空の絶好のマラソンコンディション下で3年ぶりに開催された。

この開催に向けて体協は、これまで通り参加者の受付け業務をはじめ、フルマラソンがスタート後の5kmの部、ジュニア3kmの部、キッズラン、車椅子の1km体験、その他の重要な運営を担当。野瀬会長以下、理事・評議員、加盟団体協力者を含む総勢182名が大会の成功をサポートした。広報部・早川 記

青少年スポーツ指導者講習会

第1回講座 平成24年6月8日(金) 18:30～ グリーンホール2階ホール

テーマ…「正しい献立でダイエット!」～今話題の社員食堂で学ぼう～

講師…児玉祐子先生 管理栄養士・健康運動指導士

測定機器と健康管理を連動させた健康生活を提案する(株)タニタヘルスリンク

今回講師をお願いした児玉祐子先生は、企業や自治体を対象とした特定保健指導や健康教室など多数を担当しているほか、ベストセラーとなったレシピ本「体脂肪計タニタの社員食堂」(大和書房刊)を監修するタニタ栄養士委員を務める。

1. タニタが考える健康づくりとは――

◆計るとわかる(現状把握)

BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)の値が、18.5未満はやせ、18.5～25未満は普通、25以上は肥満で現状を確認する。そして「はかる→わかる→きづく→かわる」のゴールデンサイクルによる減量のタイミングを知り、今までとは異なる新しい生活習慣を確立し、一歩進んだ内容に変えていくことが可能になる。

たとえば、歩数は一日の活動量の目安になり、一日の歩数を把握することも一つの方法である。車社会のため平均歩数は減少傾向にあるが、健康な日本人の21歳の男子は、9,200歩（女子8,300歩）を目標に、毎日無理せず、膝などに負担をかけずに、少しずつ増やしていく。

◆目標設定

本来、人のエネルギー量は、基礎代謝量70%、身体活動量20%、食事による熱産生10%で、自分の活動量を知り、この中、身体活動量を少しずつ増やしていくことが重要である。

たとえば体脂肪が1kg減るとウエストは1cm減る。これは、約7,200kcalで、男子の3日分（女子の4日分）の必要カロリー量に相当する。1ヵ月に1kg減量するには、7,200kcal÷30日=240kcalに当たる。これは、どら焼き1個、缶チューハイ300ml、ケーキ小1個分、運動量では91分（体重50kgの女子）の歩行に相当する。

食事と運動は両輪で！『摂るカロリー＝使うカロリー』で体重をKEEP！

◆継続するために

仕事ができるとか、美しくなりたいとか…、健康のメリットを考え、目的・目標を持つと継続できる。美味しいものを食べたいでも温泉に行きたいでもよい。

いきなり最終目標ではなく、スモールステップを設定し、日課で無理なくできることから始め、今の習慣に新しい習慣を導入していく。目標を「具体的に」にたてることも大切。

食材の買い方、保存の仕方、盛り付け方法、後片付けなどを工夫することなどの環境を整えることで継続をしやすくなる。また、記録付けをすることにより、モチベーションが上がりより効果が期待できる。理想的なウエイトダウンは、1ヵ月に1～2kgで無理な減量はリバウンドしやすくなる。

2. 体脂肪計タニタの社員食堂500kcalのまんぷく定食

特徴は、1食500～600kcal、塩分3～4g、野菜150～200gである。主食・主菜・副菜の3つのお皿→プラス副菜をもう1品+汁物で、テーマと情報発信、噛みごたえ、旬の食材を基本にしている。

健康管理と健康意識の向上に期待できる。材料をはかる。ごはんをはかる。時間をはかる。1日3食

バランスよく摂る。なお、香辛料などの利用で塩分を減らし、調理法を変えてカロリーダウンをする。食材の工夫(切り方、加熱方法、組合せなど)で、噛みごたえのあるものにより「満腹感」「満足感」を得るようにする。結果的に食べる量が少なくなり、減量に効果的である。



児玉祐子先生

3. ヘルシーレシピのコツ 実践編

外食メニューの選び方は、①バランス ②適量 ③満足感で、定食を選ぶようにして、コンビニ弁当でも組み合わせやトッピングを工夫する。買う時に、カロリー・塩分表示を見て選ぶ。

「気を付けよう3つの『あ』。油、アルコール、甘いもの」。嗜好品の適量は1日150kcal～200kcalで、1日の中で調節が難しい時には、2日にわたって上手にカロリーコントロールして、食べたら動こう！

最後に、『摂るカロリーと使うカロリーで体重キープ！』して健康増進を！ タニタの考える健康づくりの第一歩は、「はかる→わかる→きづく→かわる」。まずは、計ることから今の自身を確認いただき、できそうなことからスタートする。そして年1回の健康診断は現状把握する貴重な機会として利用していきましょう。『皆様の健康増進を応援しています！』と締めくくられた。

クイズあり、熱気ある参加者からの質疑応答もあり、あっという間の90分の講演が終了した。大変分かりやすく、目からウロコが何枚も落ち、さっそく実践したくなる、ためになる充実したお話に130名を超える参加者から盛大な拍手が送られた。

次回第2回は、9月1日(土)18:30～文化会館4階大会議室で、テーマ「基本的な食事と運動で美しいからだ！」～今話題の社員食堂で学ぼう～の児玉祐子先生です。

奮ってご参加ください。

広報部・下野 記

連盟協会だより

野球連盟

近況報告

春季大会

今年度の春季大会は、一般の部の第1部～第6部の279チームが、少年の部は25チームが肌寒い3月4日に同時開幕した。

学童の部は3月29日(火・祝)に小豆沢公園野球場で総合開会式を行い、3月24(土)が雨天だったため、1日遅れの25日(日)から参加69チームによって熱戦が繰り広げられた。

例年のことではあるが、春季大会は天候不順に見舞われ、今年も順延を余儀なくされた。早朝より審判員によるグラウンドの水抜き、土砂入れなどで整備をして試合を行った。その甲斐あって大幅な遅れもなく大会が進行した。

それぞれの決勝戦は、少年の部が4月1日、学童の部は5月13日、一般の部の第4部～6部が5月13日に、第2、第3部は5月20日に、そして第1部は上部大会出場などの日程調整のために5月27日と、小刻みなスケジュールであったが、すべての試合を終了した。

各部の優勝チームは次の通り

- ◇学童の部 板橋ドリームズA
- ◇少年の部 板橋ベースボールクラブA
- ◇一般の部
 - 第1部 東京ラインプリンタ印刷(株)
 - 第2部 シーホークス
 - 第3部 アカデミーBC
 - 第4部 GODIES
 - 第5部 TOKYO・J
 - 第6部 北赤ウィングス



学童の部 春季大会 総合開会式



少年の部 春季大会 表彰式

夏季大会

夏季大会の監督・主将会議は3月30日に高島平区民館ホールで開催された。

参加チームは第1部～第6部で288チームによって4月15日に開幕し、春季大会と並行して試合が進められ、5月29日現在の進行状況は、約70%の試合を消化している。

大沢征夫 記

卓球連盟

都民大会女子、史上初の4連覇達成を振り返って！

第65回都民体育大会卓球競技は5月27日、府中市郷土の森総合体育館で男子52、女子50の区市町が参加して熱い戦いが展開された。

女子チームは第1シードで、4連覇を目標に初戦は立川市と対戦して3対0で下し、続く3回戦で早くも今大会屈指の強豪世田谷区と対戦し、大苦戦をしながら3対1で勝ち、窮地を脱した板橋区は続く4回戦の杉並区に3対0、準決勝は大田区を3対0で下した。

決勝の対戦相手は練馬区と調布市の勝者で、両チームの準決勝戦を見守る板橋区としては、練馬区と対戦すれば勝算が高いと見ていたが、運も味方したか決勝は練馬区との対戦に。

予想通り白熱した試合展開に両チームから盛大な拍手が送られる。この熱い雰囲気の中、板橋区が3対0で勝利して念願の都民大会4連覇を達成した。女子4連覇は大会史上初の快挙である。

一方、男子チームは目標をベスト8に置き、1回戦の葛飾区を3対1で下し、2回戦は世田谷区(今回3位)と対戦したが、惜しくも2対3で敗れ入賞に届かなかった。

今年の代表メンバーは、男女とも経験・技術・意識が非常に高く、まとまりのある最強チームで試合に臨めたことが女子優勝の原動力となった。

特に女子チームは昨年3連覇を達成したが、新たな気持ちで臨んだ今年は、挑戦者の気持ちで戦えたことが4連覇達成の結果に繋がったと思う。

改めて都民大会の頂点を目指して日々精進している板橋区代表選手の努力と健闘を称えたい。

最後に、大会参加にご支援いただいた板橋区および体育協会に心からお礼申し上げます。

総監督・篠崎政之 記



都民大会
女子4連覇

柔道連盟

中高校における柔道の基本指導と 柔道連盟の役割

3月18日に講道館において東京都の指導者講習会が開催された。

当日は400名募集のところを倍近い700名近くの参加者となり、これから始まる中学・高校の授業における指導者の先生方の熱意が感じられた。

柔道の授業時間自体はそれほど多くない中で、いかに基本に忠実に教えていくことが重要になるであろうと思う。

スポーツや勉強も「基本」が一番重要で、かつ、あまり面白くないものである。

特に今年はオリンピックの開催年で、柔道も日本の国技として注目を集める競技であり、参加する選手の健闘を祈るものである。

さいわいにも板橋区では区営の体育施設として小豆沢武道場、東板橋体育館、上板橋体育館、都立高島高校と4カ所あり、民間でも跡部道場、翔亀柔道塾、鈴木道場、高宮道場と4カ所ある。板橋区柔道連盟としても、これらの施設と連絡を密にして指導を継続していきたいと思う。

アーチェリー協会

第65回都民体育大会、女子3位入賞

毎年、雨の中で行われる都民体育大会アーチェリー競技は、今年は快晴に恵まれ、昨年度優勝の女子チームながらプレッシャーがかかる中を3位入賞を果たした。

全日本社会人選手権 男子1位2位独占！

6月2日、3日に行われた全日本社会人アーチェリー選手権コンパウンド男子部門の決勝戦で、板橋区アーチェリー協会所属の佐藤正八選手と西田昌司選手が激突！ どちらも譲らず最終回に1点差で佐藤正八選手が3度目の優勝を飾った。二人が同じ板橋区アーチェリー協会の「TEAM ITABASHI」ユニフォームを着用しての決勝戦、表彰式が話題になった。この大会には、板橋区アーチェリー協会に所属する13名の選手が出場した。

初心者教室、今年も盛況！

5月の毎日曜日に4日間行われた初心者教室。

今年には男性より女性の参加者が多く、中学生から60歳代にいたる老若男女が弓矢で的を射つ爽快さを楽しんだほか、最終日には10mの距離で試合を実施。一喜一憂しながらも、つつじ満開の洋弓場は歓声に包まれた。



ローラースポーツ連盟

あやめ児童館での

ローラースケート教室

屋上の改修工事も終了し、鉄柱や天井ネットが取り外されて広々とした感じの〔あやめ児童館〕。

実際はこれまでと同じ広さだが、毎回、ローラースケートを初めて滑る子供、2、3回経験のある子供、上達してスムーズに滑走できる子供等々、にぎ

やかな1年だった。

今年は、ボランティアで手伝ってくれる人や、中学生の参加者が多く来てくれている。

参加人数は月によってバラツキはあるが、小学生148名、中学生14名、ボランティア8名の計170名の延べ人員を数え、来期も児童館より講師派遣依頼がある平成24年度が進行中である。

副理事長・山田好春 記

サッカー連盟

東武鉄道杯少年サッカー選手権大会

ビートルイレブンが 東上線大会と同中央大会も準優勝

前年度で特筆すべきは、板橋区の少年サッカーチーム（5年生）を代表して、6チームが第4回東武鉄道杯大会（東上線）に参加（東京・埼玉から48チーム出場）し、ビートルイレブンが準優勝を飾った。

さらに東上本線、野田線、栃木・群馬ブロックから各2チームの合計8チームによる中央選手権大会に進出して、ここでも準優勝に輝いた。

この大会は東武博物館の主催で東武鉄道が後援する大会で、東武鉄道沿線のサッカーチームを対象にした東上線大会では、これまで4回連続出場して常に上位入賞していたが、今回は東上線大会で準優勝後に、代表8チームによる中央選手権大会へ進出して準優勝の成果を挙げたものである。

今大会は特に得点力がめざましく、埼玉県が強豪チーム、栃木県の代表チームを倒したが、両大会とも同じ志木市宗岡に敗れて準優勝となったことが悔やまれるが、このチームが4月から6年生となり、トップチームとして成長して、国内小学生の最高レベルの大会である全日本サッカー大会の東京都中央大会に進出して立派な成果を挙げ、全国大会出場も



東上線大会 準優勝 於：朝霞市

視野に入るので、更なるビートルイレブンの活躍に期待していただきたい。

平成23年度の一般の部、シニアの部、SSシニアの部、フットサルの部、少年リーグの成績上位入賞チーム並びに得点王は以下の通り。

◆FC. POST 2年振り5度目の優勝！

◇1部

- 優勝 FC. POST
- 第2位 レッドプラム FC
- 第3位 FC. CHABI

◇2部

- 第1位 ゴールデン. FC
- 第2位 JT. FC
- 第3位 トプコンSC

◇3部

- 第1位 ナカバヤシ
- 第2位 板橋教員クラブ
- 第3位 高島平SC

◇4部A

- 第1位 スズデン. JV
- 第2位 文化シャッター
- 第3位 VIP. FC

◇4部B

- 第1位 デイオ
- 第2位 新日鉄SC
- 第3位 GC. デントクラブ

◆北豊島FC シニア、10連覇達成！

◇シニアの部

- 優勝 北豊島FCシニア
- 第2位 戸田橋SC. シニア
- 第3位 フェニックス

◇SSシニアの部

- 優勝 北豊島FCスーパーシニア



中央選手権大会 準優勝 於：春日部市

第 2 位 北前野・ブルーSSシニア

第 3 位 フェニックス

◇フットサルの部

前期優勝 タカニ

第 2 位 板橋TOPMAN

第 3 位 ゼロ

後期優勝 板橋TOPMAN

第 2 位 高島平SC

第 3 位 タカニ

◆チャンピオンシップ

タカニ・板橋TOPMAN両者優勝

板橋区サッカーリーグにおける各部得点王は次の通り。

1 部	石黒 力	CHABI	13点
2 部	芳賀龍之介	ゴールデン	10点
	本田 純一	J.T. FC	10点
3 部	菅野 和志	板橋教員	13点
4 部A	佐藤 昇	スズデンJV	11点
4 部B	福井 明雄	ディオ	6点
シニア	飯塚 仁志	北豊島	11点
SSシニア	岩崎 智	北豊島	7点
フットサル	吉野 研一	TOPMAN	37点

◆少年リーグのビートルイレブン

2年振り5回目の優勝

◇少年Aリーグ

優 勝 ビートルイレブン

第 2 位 九曜FCジュニア

第 3 位 FC. 熊野

◇少年Bリーグ

第 1 位 桜川SC

第 2 位 中台SC

第 3 位 リトルインディアンズ

ソフトボール連盟

一般社会人春季女子大会、準優勝で 8月の関東大会出場が決定

梅雨空の6月24日(日)から2週にわたって地元板橋の連盟主管による東京都ソフトボール協会主催「第57回一般社会人春季女子大会」が開催され、所属女子チーム〔東京ヤンキーズ〕を含む精鋭20チームによる大会は予想通りの拮抗を展開した。



準優勝の東京ヤンキーズ

大会第1日目の2回戦から出場した〔東京ヤンキーズ〕の多摩市戦は、初回表に3点先行されるも、その裏に2点を返した後も小刻みな加点で4回に4-3と逆転して3回戦へ。3回戦の調布市戦は3-0と完封し、翌週の7月1日(日)の準決勝戦へ駒を進めた。

正に4強の激突となった2日目の会場には、審判団のほか、公式記録員と放送委員会から派遣されたうぐいす嬢による放送が一層大会の雰囲気盛り上げ、準決勝戦第1試合で福生市を相手に虎の子の1点を守り切り1-0で決勝戦へ。

決勝戦は、これまでの55回・56回大会をいずれも3位に終わっている小金井市と3回まで0-0で迎えた4回、一挙に4点を献上したまま6回を終わって時間切れで準優勝が決定した。

この結果、優勝チームは全国大会へ。準優勝の〔東京ヤンキーズ〕は、8月25日(土)・26日(日)に山梨県北杜市で各都県の男女それぞれの代表8チームによる「第18回関東社会人大会」への代表出場権を獲得し、個人表彰では、小川彩選手が敢闘賞の楯をゲットした頃から、小雨が降り出し、主管地としての会場の後片付けも手際よく、無事大会の幕を閉じた。早川 記

※掲載写真は都ソ協提供



敢闘賞を胸に
小川彩選手

武術太極拳連盟

丹生理事長、総合太極拳で第1位

3月11日(日)に中央区総合スポーツセンターに於いて第19回東京都武術太極拳選手権大会が行われ、板橋区から9名が参加し、見事丹生理事長が総合太

極拳A Bの部門で第1位となり、全国大会出場が決定したほか、24式太極拳Cの部門では泉貴則君が第3位に入賞した。

また昼休み時間帯を利用して、来年度に同会場で開催予定の「第68回国民体育大会」で、デモンストレーションとして実施される32式太極拳を公開演武した。



都民大会開会式で生涯スポーツ優良団体表彰

当連盟は、5月13日(日)に駒沢オリンピック公園総合運動場で開催された都民大会開会式の体育館における表彰式で、平成24年度都体協から〔生涯スポーツ優良団体〕表彰された。

8月に簡化24式太極拳講習会

来る8月5日(日)に、シニアスポーツ振興事業の一環として、志村コミュニティホールに於いて9時30分~11時30分に「簡化24式太極拳講習会」を開催する。

参加希望者は、ご家族・友人お誘い合わせの上、当日会場までお越し下さい。受付け9時、参加費無料。

※タオル・上履き・飲料水・保険証のコピーを持参。

◎問合せ：事務局 03-6789-6399 奥野まで

**フロアボール協会
板橋区フロアボール協会に改称
(旧・板橋区ユニホック協会)
5月に3協会統合総会と
Mカップ・カーネーション杯を開催**

「フロアボール協会」「ユニホック協会」「ユニバーサルホッケー協会」の3協会が統合し、「日本フロアボール連盟設立総会」が4月28日に開催された。

競技種目は国際ルールで行う「フロアボール」と国内で普及してきたユニホックを「ネオホッケー」と改称し、この二つを包含して推進する組織が誕生した。

これに先立って板橋区ユニホック協会は3月4日に臨時総会を開催し、協会名を「板橋区フロアボール協会」とし、大会名称を「ネオホッケー」とした。

5月20日(日)に3協会統合後初の総会およびメンズカップ・カーネーション杯を開催し、総会において平成23年度の事業報告、会計報告、平成24年度の役員人事、事業計画案、予算案がそれぞれ承認された。

引き続き、毎年恒例の母の日・父の日になんだ〔Mカップ・カーネーション杯〕の試合を、男女別の総当たり戦で午前の部と午後の部に分けて展開した。

成績は以下の通り。

〈男子 午前の部〉

- 優勝 高島平Jモンスター・坂上の混合チーム
- 準優勝 中板WINS・坂上の混合チーム
- 3位 大原・坂上の混合チーム

〈女子 午前の部〉

- 優勝 高島平コバンシスターズ
- 準優勝 中板WINS・スペシャルブレンド・加賀の混合チーム
- 3位 高島平ミニーズ

〈男子 午後の部〉

- 優勝 前野UC・みなみちゃんズの混合チーム
- 準優勝 高島平Jモンスター・坂上の混合チーム
- 3位 高島平モンスター

〈女子 午後の部〉

- 優勝 高島平コバンシスターズ
- 準優勝 中板WINS・スペシャルブレンド・加賀の混合チーム
- 3位 高島平オバンシスターズ



区民ハイキング

富士を間近の
五湖台→三湖台→紅葉台ハイクへ77名参加

5月26日午前7時、参加者77名を乗せたバスは定刻通りグリーンホール前を出発。首都高での事故情報をガイドさんの「早い！入手」で山手通りを通り永福から高速道に入り一路紅葉台へ。

車内では自己紹介が始まり、抽選で落ちた応募者が復活参加できるという事務局からの電話連絡が大変素晴しかったとの報告もあった。バスは河口湖方面に向かうと、車窓から雲ひとつ無い富士山が姿を現して一同大喜び。〔道の駅・なるさわ〕で休憩後、紅葉台登山口へ到着。

各班でストレッチを行い、登山口のフェンスを開けるといきなり急で長い登りが現れ、急階段を五湖台目指して歩き始める。今回の参加者の最高齢が83歳とか、堪えられるかどうか？を心配しつつ40～50分登るとやっと平坦なハイキング道に出る。東海自然歩道の道しるべを頼りに森林浴を楽しみながら進むと、セミの音が聞こえる。樹木の間からは河口湖が垣間見える。自然と触れ合い日常のストレスを解消する。

しかし五湖台に到着し、昼食を摂る頃には富士山は雲の中。事務局からの漬物を皆で分けて食べたが、とても美味しいと評判であった。

五湖台を後に三湖台を目指す。比較的平坦な道を1時間ほど歩いて三湖台へ到着。各班ばらばらになったが、できるだけ多くの人と集合写真を撮る。三湖台から下り坂を10分ほど歩くと紅葉台展望台へ。紅葉台展望台から紅葉台木曾馬牧場までも急な下り坂。牧場横を抜けるとバスが待っていて、一路、山中湖温泉「紅富士の湯」へ。温泉でハイキングの疲れを癒し、東京に向けて出発。



帰路のバスの中での皆さんの感想をまとめると、『天気良く、富士山が見え、温泉に入れて満足。また参加したい』との声が多かった。途中渋滞も無く無事板橋に到着して散会した。

— 体育協会の今後の事業予定 —

- 1 8月25日(土) 文化会館大会議室
救急・救命講習会
- 2 9月1日(土) 文化会館大会議室
青少年スポーツ指導者講習会(第2講座)
- 3 9月9日(日) 小豆沢体育館
板橋区民体育大会総合開会式
- 4 10月21日(日) 高島平周回コース
第37回 高島平・日刊スポーツロードレース大会
- 5 10月27日(土) グリーンホール
加盟団体会長・理事長会
- 6 11月3日(土・祝日)
いたばし歩け歩け大会
- 7 12月4日(火) 文化会館大ホール
青少年スポーツ指導者講習会(全体講演会)
- 8 平成25年1月29日(火) 文化会館大会議室
新年賀詞交歓会
- 9 平成25年3月13日(水) 小豆沢体育館多目的室
加盟団体代表委員会
- 10 平成25年3月17日(日) 荒川河川敷特設会場
板橋Cityマラソン

区民の要望に応える活動を

公益財団法人 板橋区体育協会
会長 下 田 賢 司



平素より板橋区体育協会の活動に温かいご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

私は6月に板橋区体育協会の会長に選任されました。どうぞよろしくお願い致します。

板橋区体育協会は、4月1日付で公益財団法人への移行登記をすることが出来ました。これもひとえに皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も諸先輩が築かれた伝統を守ると共に、皆様の要望に応える活動をして行きたいと思っています。

さて、今年の都民体育大会の総合成績は、男子が19位、女子が6位となりました。卓球競技では女子チームが輝く4連覇、ローラースポーツ競技では男子総合優勝、ソフトテニス競技では男子チーム

準優勝など、素晴らしい成績を残しました。

各連盟・協会による選手育成の努力の成果とお慶び申し上げます。

今後も「スポーツは文化」との伝統のもと、皆様と共に競技スポーツの強化に努めたいと思います。

また、体育協会は競技スポーツ団体であると同時に、区民の生涯スポーツの普及も担っています。

これからも、区民の皆様の健康を求める要望に応える活動として、区の競技場・体育館のみならず、小学校の体育館・運動場などの身近な施設でのスポーツの普及に努めていきたいと思っています。

ここ数年の間にアマチュアダンス協会、武術太極拳連盟、フロアボール協会の加盟があり、多様化する区民の皆様の要望に応える活動を進めております。

今後共、板橋区をはじめ皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。まして、挨拶と致します。

公益財団法人へ移行後、記念すべき最初の体協ニュースをお届けすることができました。これも各加盟団体の会員の方々をはじめ賛助会員の皆様のおかげのご支援のお蔭と心より感謝いたします。これを機に、紙面は数字も見やすい横書きにし、より親しみやすいレイアウトに心がけたつもりです。体協の理事会も各加盟団体から選出し構成するという、新たな組織でスタートしました。

今年はオリンピックイヤーということもあり、さまざまなスポーツから元気を発信しています。当協会としても、今後ともさらなる創意工夫を礎として、区民の健康増進、競技力向上、地域との協働、人と人とのつながりなど多岐にわたる魅力的な取り組みに努力していく所存です。

今後も、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。